

世界を舞台に活躍中の渡辺貞夫が  
自身のルーツであるビバップをテーマに、札幌で熱い演奏を繰り広げる。

# 渡辺貞夫

SADAO WATANABE Re-Bop Night

## リバップ・ナイト



サイラス・チェスナット  
(ピアノ)



クリストファー・トーマス  
(ベース)



ブライアン・ブレイド  
(ドラムス)

2017/12/12 [火]

〈開場〉18:30 〈開演〉19:00

わくわく わくわくホリデー ホール

(札幌市民ホール) 札幌市中央区北1条西1丁目

8,000円 全席指定/税込

※未就学児の入場は  
ご遠慮願います。

### チケット取り扱い

道新プレイガイド

011-241-3871 (9:30~18:00)

<https://doshin-playguide.jp>

チケットぴあ

0570-02-9999 (Pコード:342-442)

ローソンチケット

0570-084-001 (Lコード:12382)

セブン-イレブン

店内マルチコピー機

大丸プレイガイド(南1西3) 011-221-3900

主催/北海道新聞社、道新スポーツ、エフエム北海道、道新文化事業社 特別協力/TVhテレビ北海道、オントナ 制作/M&Mスタジオ

©Masaya Takagi

●ご購入・お問合せ●  
詳しくは道新プレイガイド  
ホームページをご覧ください

道新プレイガイド

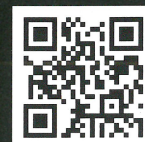
検索

TEL.011-241-3871

<https://doshin-playguide.jp> 札幌市中央区大通西3丁目 道新ビル1F(営業時間9:30~18:00 ※不定休)

無料メルマガ会員募集中!

●宅配便で道内どこでも指定日、指定時間にチケットをお届けします。  
※お客様のご負担として送料が加算されます。



## SADAO WATANABE〈Re-Bop Night〉PROFILE

©Ayano Hisa

### 渡辺貞夫〈アルト・サクソ〉

Sadao Watanabe〈alto sax〉

1933年宇都宮生まれ。高校卒業後に上京、秋吉敏子のコーギー・カルテットをはじめ数々のバンドに参加。パークリー音楽大学への留学等を経て、日本を代表するトップミュージシャンとして、ジャズの枠に留まらない独自のスタイルで世界を舞台に活躍。2005年“愛知万博”では世界中から集まった子供達400人と、国境や文化を越えた歌とリズムの共演という長年の夢を実現させ、それらの活動は海外へ広がる。近年は国立音楽大学の招聘教授として次世代の育成にも力を注いでいる。16年4月、オバマ前米大統領夫妻がホストとなり、ホワイトハウスで開催された「International Jazz Day 2016」に日本を代表して参加。12月、盟友デイヴ・グルーシン(p)を迎え、渡辺貞夫オーケストラと共に1980年の“渡辺貞夫リサイタル・アット・武道館”を国内5都市で再現し、そのライブ盤『Encore!』を今年5月に発表。またNY録音の最新アルバム『Re-Bop』、バッハのスペシャリストとして名高い小林道夫氏(cemb,pf)と2000年に共演したサントリーホールでのライブ盤『Sadao Plays Bach』は10月25日に発売される。国内のみならず、海外に於いても精力的に演奏活動を行う生涯現役プレイヤーのその姿は、世界中の老若男女に勇気と感動を与えている。  
<http://www.sadao.com/>



### サイラス・チェスナット〈ピアノ〉

Cyrus Chestnut〈piano〉

1963年メリーランド州生まれ。教会のオルガン奏者の父親の影響でゴスペルなど教会音楽に親しむ。7歳から地元のバプテリスト教会でピアノを弾き、9歳でクラシック音楽を学ぶ。パークリー音楽大学では作曲・編曲を学び、ユービー・ブレイク・フェローシップ、オスカー・ピーターソン、クインシー・ジョーンズの両スカラシップを獲得。卒業後はテレンス・ブランチャード、ドナルド・ハリソン、ウィントン・マルサリス、ベティ・カターらと共演してプロとして活動を始める。渡辺貞夫とはアルバム『リメンブランス』(1999)のレコーディングで共演。



### クリストファー・トーマス〈ベース〉

Christopher Thomas〈bass〉

1970年ミズーリ州生まれ。セントルイス・シンフォニーのベース奏者ヘンリー・ロウを師と仰ぎベースを始める。その後リチャード・デイヴィス、エリス・マルサリスの指導を受けながら、18歳でプロとして活動を始める。ブライアン・ブレイド率いる“ザ・フェローシップ・バンド”のメンバーとして、またベティ・カター、サイラス・チェスナット、ニコラス・ペイトン、テレンス・ブランチャード、ジョシア・レッドマン、ノラ・ジョーンズらと共演するなど多様なフィールドで活躍するベーシスト。



### ブライアン・ブレイド〈ドラムス〉

Brian Blade〈drums〉

1970年ルイジアナ州生まれ。9歳からオーケストラでヴァイオリンを演奏し、13歳の頃兄の影響でドラムを始める。ニューオーリンズのロヨラ大学在学中、エリス・マルサリスら地元の有名ミュージシャン達とのセッションを重ね、その後ケニー・ギャレット、ジョシュア・レッドマンらとの共演でプロ活動をスタート。チック・コリア、デヴィッド・サンボーンらとジャズ・シーンでの活動のほか、ポップ・テイラン、ジョニ・ミッチェル、ノラ・ジョーンズらとも共演。ジョニ・ミッチェルのレコーディングが縁でウェイン・ショーターのカルテットに参加。また97年には自身の“ザ・フェローシップ・バンド”を結成し、4枚のアルバムを発表。ジャズをベースに、ポップス〜ロックまで幅広い音楽性に対応できる現代最高峰のドラマー。